

レポート

(公社)東京都ペストコントロール協会の感染症並びに 新型コロナウィルス消毒業務への取り組み

元木 貢

(公社)東京都ペストコントロール協会

要旨

1999年の伝染病予防法の廃止を契機に、感染症予防衛生隊を結成した。マニュアルを策定し、毎年、責任者・作業者は研修を受講、社内研修を実施、機材・薬剤の備蓄を義務付けた。その後全国組織となり、高病原性鳥インフルエンザ・豚熱(CSF)・口蹄疫の車輌消毒、東日本大震災時のハエ駆除作業、広島・大島の土砂災害、代々木公園デング熱発生で蚊の駆除作業、エボラ出血熱疑似患者移送車消毒、常総市・19号台風等による浸水家屋の消毒作業などにあたってきた。今回の新型コロナ消毒作業では、東京都・特別区・消防庁と協定の締結を行ってきており、メール、LINE WORKSの使用、夜間待機の導入により安全かつ円滑に対応することができた。今後は事務局体制の強化、昼間、夜間、深夜とも待機を協定に盛り込むこと、夏期の熱中症対策、作業者の健康管理の徹底等が望まれる。